

令和2年度事業報告

1. 財政再建の継続

2. 令和2年度 本科入学生 20名

3. 東北歯科技工専門学校への教育の充実

非常勤講師採用

常勤職員の学術研修

職業実践訓練校の認定

CAD/CAM 講習等の特別講習の実施

4. 歯科技工士学術研修会の実施

校友会第51回学術講演会

日時 令和2年10月25日～令和2年11月15日まで配信

演題および演者

演題 コロナ禍を吹き飛ばせ！！東北歯科技工専門学校校友会 WEB セミナー

演者 近藤 太 先生、清水優子先生、阿部凌汰先生（近藤義歯研究所）

視聴人数 73名

5. 歯科技工士卒直後実技研修の実施

研修科入学生 9名

6. 短期歯科技工実技研修の実施

7. 設備、備品の補修及び充実

老朽化した施設、機材の補修を行うとともにオンライン授業を行うに当たり助成金を申請、活用し、関連する機器及びネット環境等を整え環境整備を行った。

8. 歯科診療所、歯科技工所について

向陵歯科医院、松陵歯科医院とも経費節約に努めた結果、収支が改善しつつある。歯科技工所については一歯科診療所から常時技工物の依頼があり、CAD/CAM も歯科診療所や歯科技工所から依頼が増えている。

9. 平成26年4月1日より一般社団法人へ移行し、公益目的支出計画実施に取り組んでいる

「公益目的支出計画実施報告」

1. 公益目的財産額及び実施期間

算定日 平成25年3月31日

公益目的財産額 1,860,725円

計画上の完了見込み 平成93年3月31日

2. 当該年度の収支差額

- (1) 前事業年度末の公益目的収支差額 -101, 165, 269 円
- (2) 公益目的支出額 82, 523, 363 円 (90, 820, 725 円)
- (3) 実施事業収入額 83, 018, 750 円 (88, 960, 000 円)

3. 当該年度末の公益目的財産額 102, 792, 408 円

4. 上記 2. の項に 記載した額が計画に記載した見込額と異なる場合、その概要及び理由

入学者の減少、備品の新規購入は行ったが、休業中の経費の減少、助成金収入があったため未達となった。過年度未達分もあり、公益目的財産額は増加したが、今後も老朽化している施設の修繕、実習用器具、備品の新規購入が必要となり、さらには、18 歳人口減少、3 年生への移行等に加え、新型コロナウイルスの影響を受け、更なる入学者の減少の可能性も視野に入れる必要があり、収入の減少や多くの支出が見込まれている。公益目的支出計画全体の完了までに未達分は解消する見込であるため、これから 49 年間の公益目的支出計画全体の実施に影響はないと考えている。